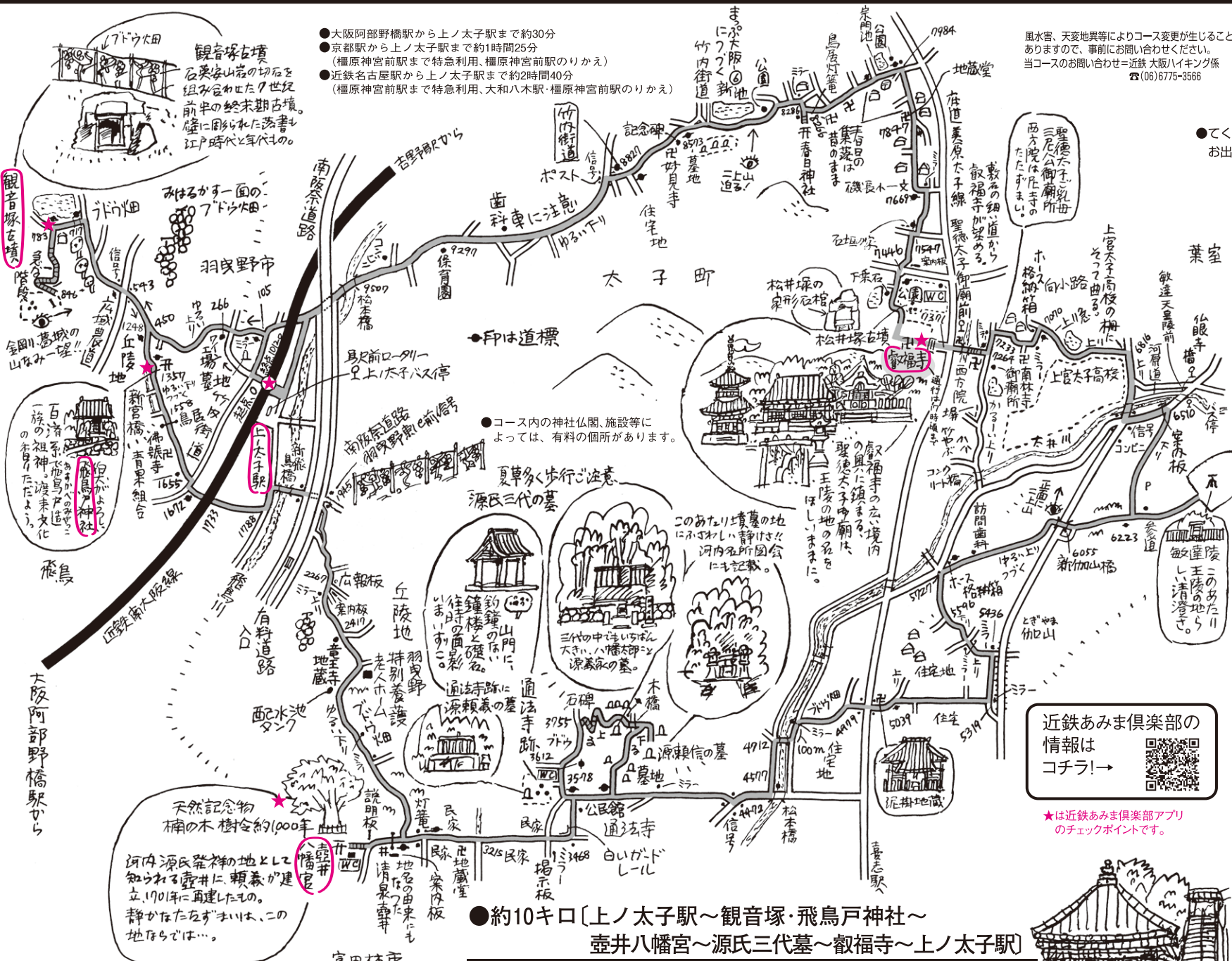


このコース地図は2024年1月調査に基づいて作成しています。

●てくてくまつぷはイラストマップですので、
お出掛けの際は詳しい地図を各自でご用意ください。

風水害、天変地異等によりコース変更が生じることがありますので、事前にお問い合わせください。
当コースのお問い合わせ=近鉄 大阪ハイキング係
☎(06)6775-3566



コースのあらまし 渡来人が活躍した古代、聖徳太子の飛鳥時代、源氏が歴史の舞台に顔をのぞかせた平安時代、このコースは三つの時代を訪ねる歴史散歩の道。前半はゆるやかな坂道を上っては下りる。後半は田園地帯に点在する史跡をめぐる、観福寺から上ノ太子駅までは、古い家並の軒先を歩く。「河内ふるさとのみち」の道標と二上・葛城・金剛連山が道しるべとなる。

河内飛鳥 飛鳥戸神社とその周辺が広く「河内飛鳥」「近つ飛鳥」とよばれる地域の中心である。神社は小さいながらも由緒は古く、百済の昆支王を祀る。神社をとりまくように広がるゆるやかな丘陵地帯は飛鳥子塚(約50基)とよばれる古墳群で、観音塚古墳はその代表格。渡来人が活躍したこの地も、今は一面のブドウ畑となっている。

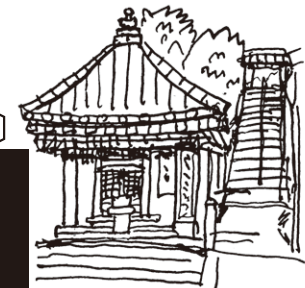
河内源氏の里 のちに鎌倉幕府をひらいた清和源氏が拠点としたところ。頼信・頼義・義家の三代は、平安時代末期に活躍した武将で、源氏の東国進出の礎となった。このあたりに壺井八幡宮・通法寺跡・三代の墓など、ゆかりの史跡が多い。

観福寺 羽曳野の野中寺(中ノ太子)、八尾の勝勝寺(下ノ太子)と並ぶ太子信仰のメッカ、上ノ太子とよばれる。太子廟には聖徳太子・太子の母・太子の后が眠り、三骨一廟という。太子廟と敏達陵(太子西山古墳)・用明陵(向山古墳)・推古陵(高松古墳)・孝徳陵(上ノ山古墳)を、その並び方が梅の花に似ていることから梅鉢御陵とよぶ。

ハイキングのエチケット
*ゴミはまとめて持ち帰りましょう。
*山火事防止のためタバコに注意しましょう。
*大切な自然です。植物の採集はつしめましょう。

近鉄あみま倶楽部の情報は
こちら! →

★は近鉄あみま倶楽部アプリのチェックポイントです。



河内飛鳥コース②

きれいな思い出 きれいな自然
ゴミやアキ缶は、持ちかえりましょう

企画・発行=近畿日本鉄道(株)
制作・印刷(株)アド近鉄
イラストマップ=トシ・アトリエ 瀬川俊明
※無断転写禁ず。

